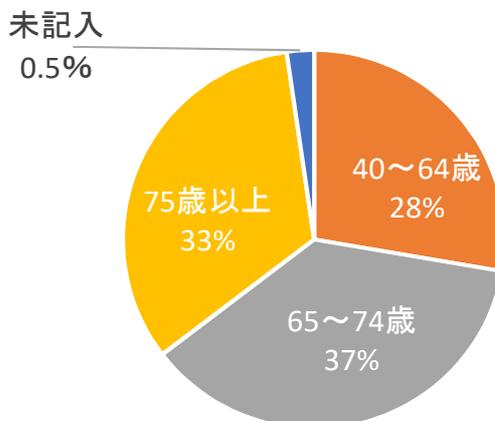


平成29年度 ②名東区区民のつどい アンケート集計結果

有効回答数	130
参加者	152
	85.5%

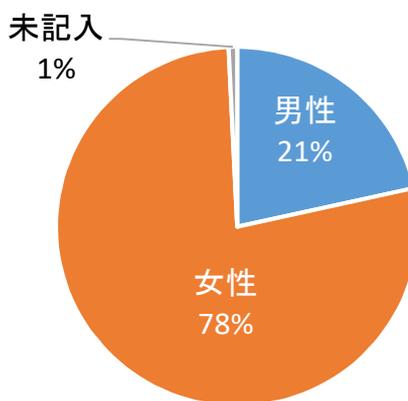
1、年齢

40歳未満	0
40～64歳	36
65～74歳	48
75歳以上	43
未記入	3
合計	130



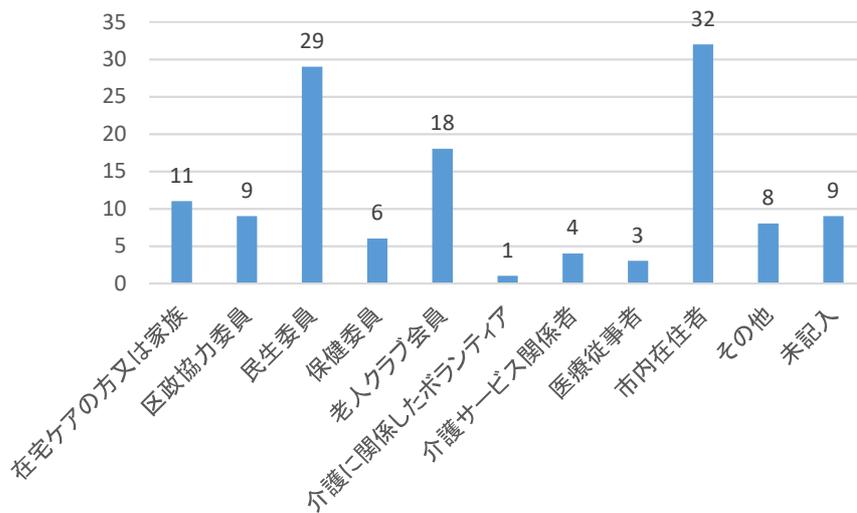
2、性別

男性	28
女性	101
未記入	1
合計	130



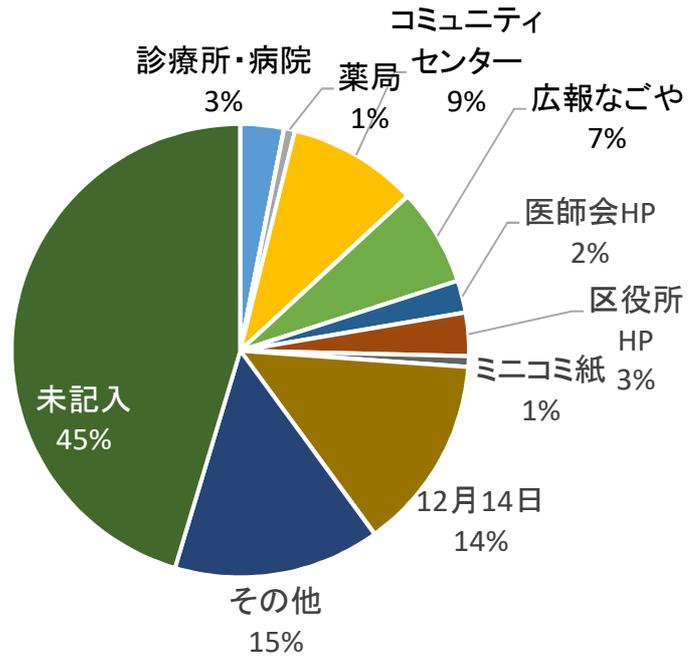
3、所属等 ※複数回答者(最初に選んだ数字順とした)

在宅ケアの方又は家族	11
区政協力委員	9
民生委員	29
保健委員	6
老人クラブ会員	18
介護に関係したボランティア	1
介護サービス関係者	4
医療従事者	3
市内在住者	32
その他	8
未記入	9
合計	130



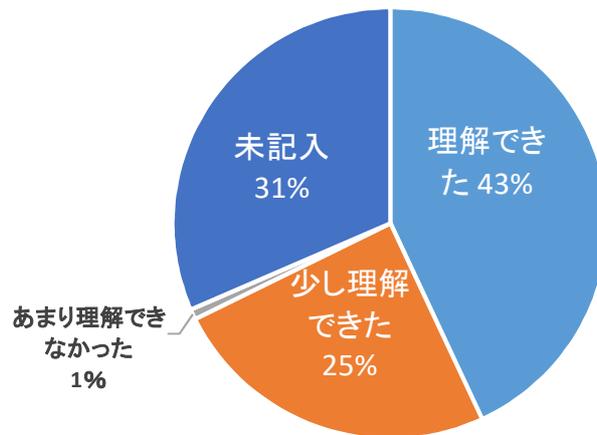
4、催しをどこで知ったか？

診療所・病院	4
歯科診療所	0
薬局	1
コミュニティセンター	12
地下鉄の駅	0
広報なごや	9
医師会ホームページ	3
区役所ホームページ	4
ミニコミ紙	1
12月14日	18
その他	19
未記入	59
合計	130



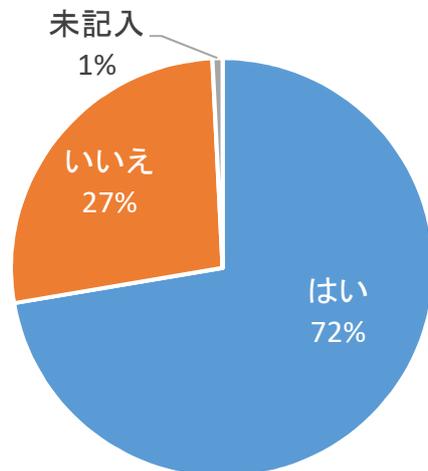
5、本日の内容について

理解できた	56
少し理解できた	32
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	0
未記入	41
合計	130



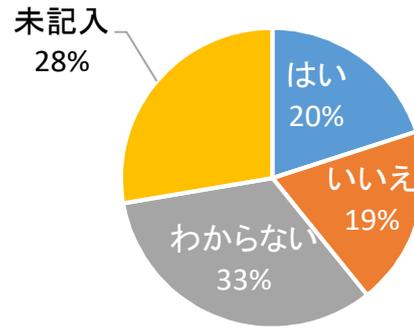
6、かかりつけ医がいますか。

はい	94
いいえ	35
未記入	1
合計	130



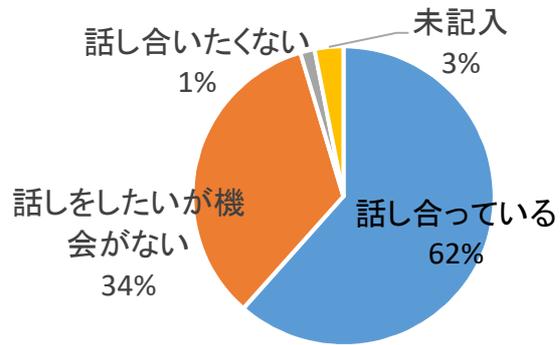
6-1、(6ではいと答えた方)その先生は往診・訪問診療をししてくれるか。

はい	26
いいえ	25
わからない	43
未記入	36
合計	130



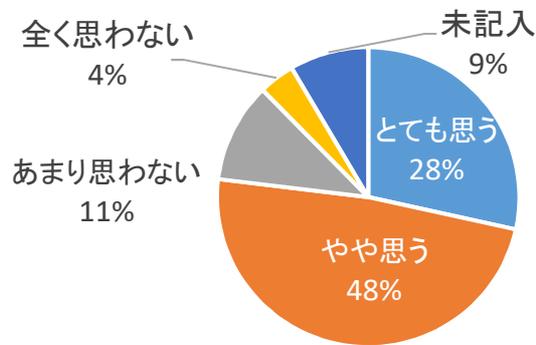
7、ご家族・ご親戚・ご友人・ご近所と自分の老後について話し合っていますか。

話し合っている	80
話しをしたいが機会がない	44
話し合いたくない	2
未記入	4
合計	130



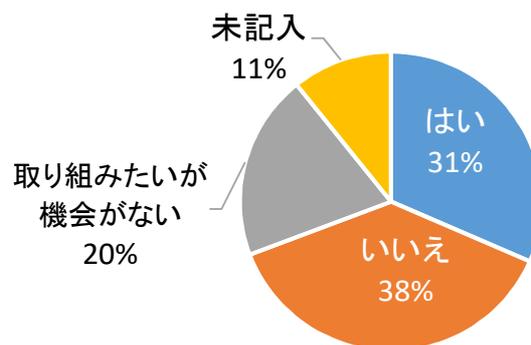
8、自分も必要になったら在宅ケアを利用してみたいと思いますか。

とても思う	37
やや思う	63
あまり思わない	14
全く思わない	5
未記入	11
合計	130



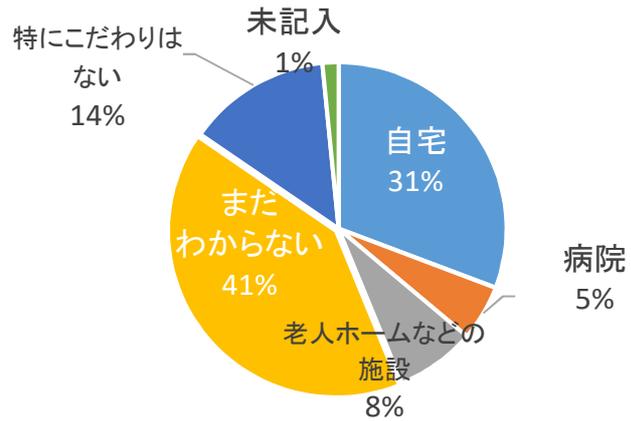
9、お住まいの地域でコミュニティケアのまちづくりに取り組んでいますか。

はい	41
いいえ	49
取り組みたいが機会がない	26
未記入	14
合計	130



10、人生の最期の時をどこで過ごしたいですか。

自宅	40
病院	7
老人ホームなどの施設	10
まだわからない	53
特にこだわりはない	18
未記入	2
合計	130



自由記載(主なご意見)

- ・まだ全く未経験ですので、いざというときには何処へ、どのように相談に行けばよいのか知りたいと思います。
- ・在宅医療を見守ってくださる医師が地域に多くいらして頂けたらと思います。
- ・自己の意思決定を明確化しておく事の大切さを自覚しました。
- ・「どう死ぬか」よりは「どう生きるか」という事だと伺ったことがあります。確かに百人百様の人生があり死があります。死んでいく時の生活環境も多様で、望める死は誰もができません。元気うちに、自分の意思で物事が進められるうちに、家族と話し合っておくことが肝要と思いました。今回の事例の場合は、家族、ケアマネ等の連携が上手くいった例ですが一人暮らしの人や老老介護の人の例も紹介してほしい。
- ・延命はされたくない。それには例え癌にかかっても無駄な処置はお断りすると思う。その点在宅クリニックの存在は有り難く大切！我が家でも義父が在宅でお世話になっております。
- ・介護とか最期をどうするかとか、まだ先のことと思っていましたが、やはり事前に知っておいたほうが良いと思いました
- ・良い事だと思いますが、いろいろと問題もあるのでは。お金の事、付き添う事、家族の自由がなくなるのでは？